北アルプス・岩井谷～乗鞍岳

２００８年１０月１１日（土）夜～１３日（祝）
メンバー：Ａ・Ｔ単独

　数年前より、五色ヶ原から乗鞍岳に向かって伸び上がる緩やかな水線が気になっていた。紅葉・イワナへの期待もあって、思い切って入谷することにした。

１０月１１日（土）
　自宅発１７：３０～岩井谷林道ゲート前（１３００m）２３：３０

１０月１２日（日）晴れ
　５：００起床、５：４５発、取水ダム（地図では桜ヶ根滝）より遡行開始。思いのほか水量多く、いきなり膝までの渡渉がシビレル。布引滝は、腿までの渡渉が不可避とみて、残念だが、かなり手前から、左手の斜面を遊歩道に出る。横手滝上流より遡行再開。入谷前にちらと見た五色ヶ原の山肌は燃えるようだったのに、両岸は針葉樹で期待はずれだ。足元からしばしばイワナが走るが、禁漁区なので、ここはじっと我慢する。膝上の渡渉を嫌うが故のやぶ巻きがうっとおしくて疲れる。ミニ水力発電小屋を過ぎ、日罵声滝のゴルジュ（７：４５）は右から大高巻き。

　２条斜瀑５mを越え、蛇出谷（１０：１０）を分けると、沢床が鉱物成分のためだろうか、いっとき白っぽくなって、イワナの気配がなくなる。林道の橋（１０：２５）をくぐり、左に取水パイプを見て進む。岩間滝（１１：０５）を巻き、廃林道の木橋（１８５０m）（１２：４５）を過ぎ、すぐのトイ状連瀑は、左から巻く。７m滝（１４：００）は左の階段状から越える。そのうち、赤石のナメ状沢床を過ぎ、何とか流れ近くに平地を見つけて、ツエルト泊（２２５０m）（１６：００）。

１０月１３日（月）晴れ
６：００起床。７：００発。渓流タビ・スパッツが凍ってゴワゴワになっている。遡行開始した途端に、転石で滑り転倒。なんと、濡れた転石がことごとくテカテカに凍っている。これじゃ石飛びもままならないので、仕方なく両岸のやぶを辿る。全長約１００mの瀑流帯（７：３０）も水線通しに行けば快適なのだが、テカテカなので仕方なく両岸の草付きを辿って越えると、前方が開けて小川状となり、小湿原に導かれる。さぞ高山植物の開花期はきれいだろう。高山特有の開放的な源頭を延々と辿り、皿石原

の登山道に出る（１０：４５）。運動靴に履き替え、喘登した山頂は大勢のハイカーでにぎわっていた（１２：４５）。外輪山や池をのんびり回遊するのも楽しそうだ。
　千町尾根道の１９５１m付近より、五色ヶ原に降りて、紅葉を鑑賞したかったが、疲れ、時刻、ガイドツアーの人への配慮、等々から、畳平から、バスで、槍穂・紅葉を眺めながら、ほおのき平へ、さらにバスを乗り継いで旗鉾へ、林道を約６kmのんびり歩いて車を回収した。

　最後に、五色ヶ原一帯は有料ガイド同行限定の入山規制区域ですので、沢登りは大目に見て頂いているようですが、無用のトラブルを起こさないような配慮が必要だと思います。